



愛媛大学プロテオサイエンスセンター

共同利用・共同研究拠点「プロテオインタクトーム解析共同研究拠点 (PRiME)」

2025 年度 共同利用・共同研究 公募要領

愛媛大学プロテオサイエンスセンター（以下「PROS」）では コムギ無細胞タンパク質合成技術・プロテインアレイ・近位依存性標識酵素（AirID）といったPROSが世界に誇る技術を基盤として、タンパク質と相互作用するタンパク質の発見・同定を推進し、細胞・個体レベルでの機能検証までをシームレスに行い、複合体タンパク質の解析を実施できる統合的な共同研究プラットフォームを提供する「プロテオインタクトーム解析共同研究拠点 (PRiME)」(以下、拠点)を運営しています。この度、国内外の関連研究者を対象に、次の要領で2025年度の共同利用・共同研究を募集いたします。

1. 公募事項

(A) 共同利用（採択予定数 5-10件程度）

PROS/PRiME では、コムギ無細胞タンパク質合成技術を用いてヒトの全タンパク質 2 万数千種を個別に合成し、これらのタンパク質をスライドガラス上もしくは 96 穴や 384 穴などのマルチウェルプレートでアレイ状に配置したプロテインアレイを用いた技術支援を提供しています。また、AirID を利用した細胞・個体レベルでの相互作用タンパク質の解析支援も可能です。国内外からの共同利用を広く公募し、原則として旅費を補助します。また、1 件あたり15 万円／年度を上限に補助し、不足分は受益者負担とします。

詳細は、下記の各担当者にご相談ください。

- ・プロテインアレイを利用する共同研究

竹田浩之 takeda.hiroyuki.mk@ehime-u.ac.jp

高橋宏隆 takahashi.hirotaka.rn@ehime-u.ac.jp

- ・AirID を利用する共同研究

山中聡士 yamanaka.satoshi.ze@ehime-u.ac.jp

野澤 彰 nozawa.akira.my@ehime-u.ac.jp

(B) 共同研究（採択予定数 20-30件程度）

PROS/PRiME では、プロテオインタクトームに関連した生命現象の基本的な分子メカニズム

の理解から、疾患の病態解明や診断法・創薬を含む治療法の開発までをも見据えた申請者の自由な発想に基づいた PROS/PRiME との共同研究課題を募集します。原則、共同研究経費として1件30万円／年度を上限とします。詳細は、PROS 各教員とご相談ください。

また本年度も、継続して「大阪大学蛋白質研究所共同利用・共同研究拠点」との構造解析等を加えた共同利用・共同研究を特別枠として募集いたします。この特別枠では、両拠点事業を有機的に活用する課題が優先的に採択されるほか、特別枠課題には、共同利用リソース（マシンタイムなど）の配分を優先的に割り当てるなどの優遇措置があります。

※提案研究と PROS 教員とのマッチングも受け付けます。申請前の PROS 教員との打ち合わせのためのマッチング希望の場合、担当者（今井祐記：y-imai@m.chime-u.ac.jp）まで、ご連絡下さい。

2. 応募資格

国内外の大学の教員その他研究機関に所属する研究者（大学院生を含む）および拠点長が認める者。研究代表者が大学院生の場合には、所属研究室の指導教員から承諾書（様式2）を提出してください。ただし、愛媛大学以外の研究者を研究代表者とし、PROS教員（専任・兼任を問わない）が研究分担者として研究組織に含まれていることを条件とします。本公募では、若手研究者や女性研究者を積極的にサポートする方針であり、性別、年齢、国籍、人種等の多様性を尊重します。

3. 申請方法

PROS教員とあらかじめ十分な打ち合わせを行った上で、申請書（様式1-A:共同利用または1-B:共同研究）に必要事項を記載の上、PDFファイルにて下記11までメールで提出してください。

4. スケジュール

公募期間：2024年12月26日～2025年1月20日 ※厳守

採否決定：2025年3月下旬

共同利用・共同研究期間：2025年4月1日～2026年3月31日

5. 選考および通知

採否および研究費の配分額は、学外有識者を含むPRiME運営委員会において申請内容（課題の必要性・独創性、実現可能性など）を総合的に審議の上、決定します。決定後、採択された研究課題については、2025年3月末までに申請者に直接通知します。

6. 成果報告

2026年3月31日までに、研究成果報告書（様式3）を下記11までメールで提出してください。報告書の内容は公表する予定ですので、特許出願または出願予定などのため、成果の公表を一時見合わせる必要がある場合は、共同研究報告書提出延期依頼書（様式4）を提出してください。

7. 成果発表

成果を学術論文等として発表した場合には、論文中に本センターの共同利用・共同研究であることを明記し、公表された印刷物の別刷り（PDFでも可）を1部、下記11まで提出してください。英文記載の場合は、Acknowledgeの欄に

This study was supported (partly) by the Joint Usage/Research Center for Proteo-Interactome (PRiME), the Proteo-Science Center, Ehime University

と明記してください。

また、成果報告会を開催し、発表をお願いすることがございます。

8. 知的財産権について

本共同研究によって知的財産が創出された場合、各研究者および当該共同研究組織の所属機関の知財担当部署間で出願可否・帰属・手続きなどの協議を行います。

9. 安全保障輸出管理

研究組織に国外研究者が含まれる場合、当該研究者所属国ならびに当該共同研究課題内容を勘案し、必要に応じて、外為法（外国為替及び外国貿易法）に基づく該非判定のための資料の提出を求める場合があります。

10. 遺伝資源の取扱いについて

平成29年8月20日から「遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公平かつ衡平な配分に関する指針」が施行されたことに伴い、海外生物サンプル（遺伝資源）の取得や研究には、生物多様性条約及び名古屋議定書に基づくABS手続きが必要となりますのでご留意ください。

11. 申請書提出先および問合せ先

申請者は、申請書（様式1-Aまたは1-B）および指導教員の承諾書（様式2）一式をPDFファイルにて、下記宛先まで電子メールで提出してください。申請書等各様式は、下記PRiMEホームページからダウンロードしてご使用ください。

<https://www.pros.ehime-u.ac.jp/prime>

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

愛媛大学 研究・産学連携支援部 研究・産学連携課 研究拠点第三チーム

email: prime@stu.ehime-u.ac.jp TEL: 089-927-9686 FAX: 089-927-8528